

効果的な視覚化という面でも役立ちそうである。

くことになると思える。

5. 質の向上が信頼に

1977年の初代ひまわり打ち上げ以来、GOES-9による救援はあったが、我が国は西太平洋において静止軌道からの気象観測を続けてきた。そしていまや、衛星の雲画像はあって当たり前の時代になった。

ひまわり6号の運用開始によって、雲画像の持つ情報量は大きく増加し、雲画像から作り出されるさまざまな情報の質の向上がもたらされる。雲画像の新しい利用方法も開拓されることであろう。増えた雲画像の情報量を最大限に活かし、より質の高い情報を生み出すことが、新しい時代の気象行政への信頼を高めてい

略語一覧

MTSAT-1R: Multi-functional Transport SATellite-1R

GOES: Geostationary Operational Environmental Satellite

VISSR: Visible and Infrared Spin Scan Radiometer

HRIT: High Rate Information Transmission

HiRID: High Resolution Imager Data

MDUS: Medium scale Data Utilization Station

SDUS: Small scale Data Utilization Station

LRIT: Low Rate Information Transmission

WEFAX: Weather Facsimile



第37回（平成18年度）三菱財団自然科学研究助成の募集

1. **助成の趣旨:** 科学・技術の基礎となる独創的かつ先駆的研究とともに、既成の分野にとらわれず、すぐれた着想で新しい領域を開拓する萌芽的研究に期待して助成を行う。自然科学のすべての分野に関わる、すぐれて独創的な研究を助成の対象とする。さらに複数の分野にまたがる新しい現象を模索する実験・理論や、環境問題の基礎的研究も対象とする。
2. **応募資格:** 原則として、1つのテーマとして独立した個人研究（但し少数グループによる研究も含む）を対象とする。当該代表研究者が日本国内に居住し、国内に継続的な研究拠点を有する場合（国籍等は不問）に限る。
3. **助成金額:** 総額約3億円を予定。1件当たり2千万円以内とし、採択予定件数は40件程度を目途とする。研究の性質上比較的少額で足りる内容のものも考慮される。
4. **助成期間:** 1年を原則とする。なお研究の性質上1年を超えるものについても、弾力的に対処する。
5. **応募方法:** <http://www.mitsubishi-zaidan.or.jp> から“申込書用紙”をダウンロードして使用
6. **応募期間:** 2006年1月6日（金）～2月3日（金）必着
7. **申込書提出先:** 財団法人三菱財団事務局
〒100-0005 東京都千代田区丸の内2丁目5番2号（三菱ビル15階）
Tel: 03-3214-5754, Fax: 03-3215-7168
その他詳細は上記ホームページまたは気象学会事務局まで。